

令和 4年度

【法人の概要】

(1) 設置する学校

①奈良芸術短期大学	美術科	専攻科	
②檀原学院高等学校	全日制課程	普通科	美術科
③聖心学園中等教育学校	前期課程	後期課程	
	全日制課程	普通科	
④聖心幼稚園			

(2) 学校の入学定員

		入学定員(名)	定員(名)
①奈良芸術短期大学	美術科	130	260
	専攻科	20	40
②檀原学院高等学校	普通科	150	450
	美術科		
③聖心学園中等教育学校	普通科	80	480
④聖心幼稚園			160

(3) 学生生徒数の状況(令和4年5月1日現在)

奈良芸術短期大学	美術科	専攻科	計(名)	定員充足率
1回生	160	32	192	128.0%
2回生	111	14	125	83.3%
計	271	46	317	105.6%

檀原学院高等学校	普通科	美術科	計(名)	定員充足率
1年生	86	18	104	69.3%
2年生	75	24	99	66.0%
3年生	67	22	89	59.3%
計	228	64	292	64.8%

聖心学園中等教育学校	普通科	計(名)	定員充足率
1年生	55	55	68.7%
2年生	42	42	52.5%
3年生	57	57	71.3%
4年生	28	28	35.0%
5年生	40	40	50.0%
6年生	37	37	46.2%
計	259	259	53.9%

聖心幼稚園		計(名)	定員充足率
3歳児	20	20	50.0%
4歳児	20	20	50.0%
5歳児	16	16	40.0%
計	56	56	46.6%

(4) 役員・教職員の概要

役員の数

	人数(名)	任期
理事	5	3年
監事	2	3年
評議員	11	2年

役員 (令和5年3月31日現在)

	氏名	常勤・非常勤	兼職名
理事	平田 静太郎	常勤	
	平田 博也	常勤	短大 学長
	松本 邦夫	常勤	高校 校長
	喜多 一嘉	非常勤	会社 役員
	澤井 泰裕	非常勤	税理士
監事	秋山 好一	非常勤	
	松谷 富史	非常勤	

評議員

評議員	氏名
	平田 静太郎
	平田 博也
	松本 邦夫
	久野 喜美代
	西山 晴夫
	平田 寛二
	山田 幸男
	澤井 泰裕
	喜多 一嘉
	萬谷 嘉男
	荒木 保幸

教職員 (令和4年5月1日現在)

	本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員	計
奈良芸術短期大学	25	22	79	4	130
橿原学院高等学校	33	4	6	1	44
聖心学園中等教育学校	35	4	13	0	52
聖心幼稚園	8	0	6	0	14
計	101	30	104	5	240

学校法人 聖心学園

中 期 計 画

(令和2年度～令和6年度)

【学校法人】

聖心学園のあるべき姿の実現に向けて

- ① 経営ガバナンスの強化
- ② 教育内容の質の向上
- ③ 施設設備の整備充実
- ④ 組織力の強化
- ⑤ 情報発信力の強化
- ⑥ 財務内容の改善
- ⑦ 地域・産業界との連携推進

… 建学の精神に基づく教育理念の追求・実現

具体的な行動計画

1 経営ガバナンスの強化

- ### 施策
- ① 第1次中期計画の進行管理を徹底する
 - ② 法人及び各学校園の組織・運営体制を整備充実する
 - ③ コンプライアンス体制・機能を強化する
 - ④ 学園のリスクマネジメント体制・機能を強化する

2 教育内容の質の向上

- ① より良い教育実現のため、教職員の能力を高める
- ② 教職員の安全衛生管理を推進する

3 施設設備の整備充実

- ① 教育支援・学修支援の更なる向上を目指し、建物設備・情報通信インフラの整備充実を図る。
- ② 安心・安全、省エネルギー化の学園作りを図る
- ③ 防災対策の充実を図る

4 組織力の強化

- ① 教育連携を強化し、聖心学園の総合力を発揮する。

5 情報発信力の強化

- ① 広報活動を強化し、聖心学園ブランドの推進を図る
- ② 学園情報の発信力の強化を図る

6 財務内容の改善

- ① 「中期財政計画」を作成し進捗状況を把握する
- ② 各学校園の学生定数を充足し、学生納付金収入の確実な確保を図る。
- ③ 「中期財政計画」に沿い、経費の節減策を着実に実行する
- ④ 中期計画の最終年度における教育活動資金収支を改善する。

7 地域・産業界との連携推進

- ① 地域・自治体・産業界との連携・協働事業を支援する
- ② 地域社会と連携した生涯学習振興を支援する

【奈良芸術短期大学】

1 基本的な考え方

- ① 本学教育の母体は「学生」にある。教育活動、研究活動、社会参加、大学運営等に当たっては学生数の確保がなければならない。
- ② そのため以下の三位一体の改善に取り組む
 - (i) 教学関係
 - ・ 教学内容を検討し、時代のニーズに合ったカリキュラムを創設、指導法についても改善する。
 - ・ 社会参画、発表の場を積極的に取り込み、ヤル気・ホン気・コン気の育成に努める。
 - (ii) 短大事務（教務課・学生課・入試広報室）関係
 - ・ 入試制度、入試日程、広報の在り方を検討改善する。またコースの改廃についても検討する。
 - ・ 学生支援、就職支援の充実を図る。
 - (iii) 法人事務局関係
 - ・ 教育環境の点検、整備を行い、学生が学習に集中できる環境をつくる。

2 本学の将来像

建学の精神、教育の基本理念は不易・不変なものとし、美術科・専攻科の体制を維持しつつ、時代・地域のニーズによってカリキュラム、コース編成の改革を行う。又、教育のグローバル化の中で、留学生の受け入れ、三年制大学・海外大学との連携も視野に入れた大学運営を検討する。

3 第一次中期計画の枠組み

- (i) 運営全般
 - 外部評価懇談会の実施
 - 自己点検評価の実施と報告書作成
 - 第三者評価の受検と評価結果による改革改善施策の策定
- (ii) 教育内容・方法
 - PDCAサイクルによる点検改善
 - 毎年コースごとに学長面談の実施
- (iii) 入学者増加の施策
 - 過去の入試状況の分析と改善策の検討。
 - 新コース等の検討と創設に向けた準備、コース統廃合を含むコースの在り方の検討
 - 学外ニーズの把握
- (iv) 外国人入学・留学生の受入れ
 - 他大学の状況調査と海外の日本志向情報調べ
 - 短期留学生の受入れの制度・規程の策定
 - 若干名の入学者を得て組織・運営の在り方を検討・改善する。
- (v) 社会人講座
 - 短期講座の開設
 - 実技コース要項作成
 - 生涯学習へ開放

【檀原学院高等学校】

1 生徒定員数の充足の為に

現状、1、000人を超える受験者数を確保しているが、専願受験者が1割に満たない状態が続いている。少子化のなかで、専願受験者数の増加に向けて、次のような計画を設定する。

- ① 私学の独自性と小規模校のメリットを最大限に生かし、生徒個々に応じたきめの細かい指導実践を強化していく。
- ② 生徒個々の家庭環境を見据えながら、基本的な生活習慣の確立を図り、倫理観の育成と規範意識の高揚に努める。
- ③ 教職員間の意思疎通と情報共有を迅速に行い、学年を超えた生徒の実態把握に努める。
(職員会議、学年会議、教科会議、各分掌会議の充実)
- ④ 本校生徒の実態に即した教育プログラムを構築する中で、生徒の自発的な教育活動を促し、実力と実践力を培い、確かな進路保障に繋げていく。
- ⑤ 入学試験に関わる対外的な行事において、本校の教育実践と生徒の成長、進路実績等に関わる更なるアピールの強化に努める。(在校生保護者に対するアピールも含む)

【聖心学園中等教育学校】

1 生徒定員数の充足の為に

① 組織・運営体制の整備充実

- (i) 組織・運営体制がその機能を十分に発揮するようなソフト面の工夫
 - ・ 一人一人の意識の向上、モチベーションを高める
 - ・ 働き方改革が叫ばれる中、私学として他校との差別化を図る
放課後の学習補充（後期課程で、大学入試の対策の工夫）
 - ・ 優秀な教員の確保、年齢構成のバランスを図る。

② 教育内容の充実のための施策

「英語」と「探究活動」を2本の柱とする

- (i) 「英語」 … 6年間を見据えたグローバル教育
 - ・ 英語集中プログラムの系統的な実施
海外研修の充実 ○オーストラリア現地校との姉妹校の締結
○生徒・教員の長期・短期の交流（希望者）
 - ・ シンガポールでの現地校生徒との交流によるエンパワーメント研修の実施
（希望者対象とし、奈良県の公立トップ進学校と連携して実施）
 - ・ 奈良県立国際高校とのソフト面での交流
- (ii) 「探究活動」
 - ・ 前期課程 … 地元の橿原市・明日香村との一層の連携を図る
 - ・ 後期課程 … クエストカップ等への継続的応募、本校取組の積極的PR
 - ・ 河合塾との連携（未来探究）を外部に発信

※ 理科教材についての特許を有する教員が在籍し、他校への講師派遣の働きかけや教員の集まる教科研修会での実践発表（教育委員会への働きかけ）を行う。

③ 組織力の強化

- (i) ソフト面 … 教員の質の向上、研修の充実、一人ひとりの意識の向上
- (ii) 発信力の強化
 - ・ 本校ホームページの充実
 - ・ 新聞の利活用
 - ・ 育友会、同窓会との連携
- (iii) 探究活動の成果の活用
 - ・ 本校教員を講師として派遣
 - ・ 進学塾・学習塾に依頼を受けて出前授業（理科）を実施
 - ・ 内閣府発刊の地域経済分析の副教材発行の編集委員が本学教員に存在する。
今後、いろいろな場面でのPR、講演活動での広報が期待できる。

【聖心幼稚園】

1 園児数確保の為に

- ① 教育内容の充実（特色ある指導の実現にむけて）
 - (i) 少人数編成クラスの継続
 - (ii) 特別指導の充実
 - ・ 英会話講師の充実やプログラミング教育の導入の検討
 - ・ 放課後のスポーツクラブに加え、習字教室の導入の検討
- ② 情報発信と広報活動の強化
 - ・ 聖心幼稚園の強みや特色を周知するため、インターネットや広報誌による広報の強化
 - ・ 保護者会との連携

【事業の概要】

【学校法人】

1 令和4年度の主な事業の概要

【経営ガバナンスの強化】

各種規程の制定及び改訂

- ①「学校法人聖心学園 公益通報に関する規程」の制定
- ②「学校法人聖心学園 ハラスメント防止規程」の制定
- ③「学校法人聖心学園 就業規則」の改訂
- ④「奈良芸術短期大学 ガバナンス・コード」の制定

【教育の質の向上】

- ①教育研究機器の積極的な購入により、創造的な授業の展開に役立った。

【施設設備の整備充実】

- ①奈良芸術短期大学3号館、4号館、5号館の照明のLED化
- ②奈良芸術短期大学5号館のトイレの洋式化
- ③橿原学院高等学校体育館の空調設備の更新(ボイラーから電気式空調設備に変更)
- ④聖心幼稚園 園児用トイレの洋式化と園舎照明のLED化

【組織力の強化】

- ①各校種間での授業連携を実施するなど、一定の成果があった。

【情報発信力の強化】

- ①法人傘下の各学校間のホームページをリンクし、知名度の向上を図った。

【財務内容の改善】

- ①中期財政計画を作成。令和4年度は事業活動収支の改善が進み、これにより財務比率の改善が図られた。

【地域・産業界との連携推進】

- ①連携プロジェクトの増加や地元自治体首長の講演など、学生生徒の地域への関心を高める活動を実施。
- ②奈良芸術短期大学への企業・自治体・各種団体よりの作品制作依頼が増加。学生の創作意欲の向上と地元産業界への貢献で好循環が実現している。

【奈良芸術短期大学】

1 令和4年度の主な事業の概要

【運営全般】

- ①短期大学基準協会より令和4年3月11日付適正大学としての認証を受けた。これにより本学の運営が適正であることが外部機関によって認証されたことになる。
- ②学生の懲戒処分を考え方を従前の「罰」の概念から「立ち直らせる処分」の概念に変え、学則の街頭条項を変更した。
- ③各教科・科目のそれぞれに建学の精神「美は人をつくり、人は美を創る」を具現化する内容になっているかの自己点検を命じ、指導内容、指導法についての改善をシラバスで表明することにした。(令和5年度版シラバス参照)

【教職員研修】

- ①セクハラ、パワハラ等のハラスメントに関する研修を行い、相談窓口担当者及び委員構成の周知を教職員及び学生に行った。
- ②SD活動の一環として、外部専門講師を招いて接遇マナー講座を行った。今後とも職員の職務効率化のためのSD活動を充実させていきたい。

【教育内容】

- ①コロナ禍のなかであったが、学生は人的コミュニケーションがあつてこそ育つものとの考えで、前年度に続いて予防対策等を行ったうえで、対面授業の実施を原則としたが、学内や学生寮内でのクラスターの発生もなく、行動の縮小や海外研修の中止はあつたものの、教育内容は計画通りに実施できた。
- ②「社会人力」の育成が提言されている。本学ではこれに呼応するものとして、従前よりコミュニケーション系4科目を実施しているが、これに加えて「未来デザイン学」を新設し、リレー講義により作家と民間を結ぶパートへの参画を学べるようにした。(この科目は全国初である)
- ③連携事業の授業への持ち込み強化。これまでは教育課程外のボランティア活動としての連携授業であったが、その一部を授業の材料に取り入れることとした。単に教材を学ぶのではなく、外部からの要望作品を教材とすることにより外部評価も加えることが可能となるため、授業の材料に連携事業を取り入れることにした。中堅ゼネコンの(株)奥村組の周年記念酒ラベルの制作には学生を交えて、産学共同企画運営を図った。その他、香芝市のバス3台のラッピング、宇陀市の三つの城の御城印の制作、橿原警察署の交通安全周知のためのプロジェクションマッピング企画制作、三宅町交流まちづくりセンターMiiMoの食堂ファサード等改修にかかる企画提案等、授業の材料として取り扱った。

【入学者増の対策】

- ①前年度に引き続き三位一体の活動(教育内容の改善:教員、施設設備の改善:法人本部、入試制度募集活動の改善:事務部局)を強化した結果、令和4年度は定員を超え最多となった。

【カウンセリング室の開設】

学生生活上の悩みや困りごとなどへの相談を受ける臨床・公認心理士によるカウンセリング室を開設。教育効果を上げると共に、退学者を少なくする手段としたい。

【その他】

- ①社会人講座 コロナ禍の影響で、受講者数は落ち込んでいるが「一日子ども大学」「歴史講座」「日本画講座」は盛況である。日本画講座ではこれまでの通年制を前・後期分割型にし、参加しやすくした。
- ②留学生の受入れ 海外との交流も徐々に緩和され始めた。アフターコロナでの対応について検討中である。
- ③卒業・修了制作展 昨年までコロナ禍で在学生の親族のみの入場規制としていたが、コロナ対策を行って規制なく開催した。また、開催後の感染者報告等はなく、無事終了した。
卒業・修了の集大成の作品を多くの来場者に観覧してもらったことは、制作者にとり大きな刺激となった。

【施設設備の整備充実】

- ①3号館、4号館、5号館の照明のLED化
②5号館のトイレの洋式化

活動内容	実施日	参加者(名)
実技体験とデッサン指導	4月30日	77
	5月29日	34
	7月30日	75
	7月31日	67
	8月21日	86
	3月12日	25
授業公開&入試対策ゼミナール	9月24日	15
	12月11日	23
キャンパス見学・相談会	5月15日	10
	1月28日	11
卒業・修了制作展	2月18～20日	18
合計		441

2 奈良芸術短期大学 教育マップ

『建学の精神』

美は人をつくり、人は美を創る

日本人の心のふるさと飛鳥で、「教育は環境なり」の信念のもと、芸術性豊かな人材を培い、造形的精神や技術を修得することによって品位ある社会人、専門家としての人材を育成する。

『教育理念』

- | | | |
|------|---|----------------------|
| 基本理念 | … | 人間性回復と創造性開発の扉を開く |
| 行動理念 | … | ヤル気・ホン気・コン気を有する人材の育成 |

『教育目的』

清浄な環境において、人間性の錬磨と知性の涵養に努め、一般教養及び美術に関する専門教育を施し、学生自らの人間形成を支援して、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする

『教育目標』

目的達成のため重点目標をおく。

- ① 正しくものを見る眼を養い、創造性開発のための基礎基本の徹底
- ② 飛鳥(古代)文化に根づく感性の育成
- ③ 技法・技術のみならず人権文化に徹した人づくり
- ④ 『もの』に働きかけ『もの』と取り組む造形活動の育成

『3つの方針』

『入学者受け入れの方針』

- ① 基礎・基本を研ぎ、創造性開発に努める人
- ② 「美術」に取り組み、自己形成に努める人
- ③ 「ヤル気・ホン気・コン気」の3つの「キ」を実践する人
- ④ 人とのつながり、地域社会を大切にすることを実践する人

『教育課程編成・実施の方針』

- ① 教養科目、専門科目ともに科目や教材に「飛鳥(明日香)」を組み込み、当地に眠る古代美術のエネルギーを理解させる
- ② 社会人としての視野を広げ、コミュニケーション能力を有する人物を育てる
- ③ 専門科目をとおして専門知識・技能を身につけ、ヤル気・ホン気・コン気の態度と実践力を育成する
- ④ 地域社会に貢献する人材を育てる

『学位授与の方針』

- ① 実際生活に美術の専門的・実践的能力を生かす素養を有している
- ② 幅広い分野で活躍できる個性と創造的能力を備えている

【榎原学院高等学校】

1 令和4年度の主な事業の概要

【教育活動】

本年度においても、新型コロナウイルス感染拡大の波の大きさにより、教育活動を縮小しなければならない場面が見られた。しかし、一昨年度からの様々な経験により生徒側も指導する教員側においても、全般的には混乱することなく終えることができた。3月には文科省より「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について」の通知や5月からの5類への引下げ等の対応で、いよいよコロナ禍の前に戻れる期待を持ちたいところではあるが、生徒や教職員の中では、まだまだ感染に対する不安を持つ者が多く、複雑な心境が拭えない状況である。次年度に向けては、どのような状況の変化にも対応できる体制を考慮しながら、生徒・教職員が安心安全に学校生活を過ごすことができるように配慮していきたい。

①休校時のオンライン授業等の対応として、教室のWiFi環境の整備が終了した。教員個々にタブレット式の端末機を配布し、各教科において研修を進めている状況のなかで、令和5年度より新入生各自に端末機による運用を開始する。

②体育館の空調設備が完備し、夏期の体育授業や集会また部活動等での熱中症や暑さ対策に大いに役立った。

しかし、コロナ禍の影響で今年度も「文化祭」や校外における「体育大会」や「修学旅行」は縮小しながらの実施にとどまり残念であった。

③入学試験に関わる行事においては、感染予防を徹底しながら全ての行事を実施することができた。

広報活動の強化により、志願者数は令和3年度よりも35名増加の1,312名であった。

併願受験者が令和3年度を上回ったが、専願志願者が若干減少したことで、入学者数は令和4年度を僅かに上回る結果となった。

今後、県中南和地域における人口減少が進み、高校受験に与える影響が深刻化していく状況の中で、全県下を見据えた広報活動を強化し、「入学したい学校づくり」を構築していかなければならないと考える。

【施設設備整備】

榎原学院高等学校体育館の空調設備の更新(ボイラーから電気式空調設備に変更)

2 令和4年度 生徒募集の広報活動状況

活動内容	場所	実施日	対象者	参加者(名)
美術とのふれあい	本校	7月23日	中学生	27
オープンスクール	本校	7月31日	中学生・保護者	154
		8月20日	〃	144
美術科体験入学	本校	7月31日	〃	27
		8月20日	〃	19
第1回美術科実技講習会	本校	9月3日	中学生	34
第2回美術科実技講習会	本校	10月1日	〃	35
第1回入試説明会	本校	10月30日	中学生・保護者	211
第3回美術科実技講習会	本校	10月30日	中学生	57
第2回入試説明会	本校	11月5日	中学生・保護者	51
第4回美術科実技講習会	本校	11月26日	中学生	63
参加者合計				822

3 令和4年度卒業生の進学状況 (名)

【特進コース】

国公立大学	滋賀大学	1	愛知県立大学	1
	大阪教育大学	1	奈良教育大学	1
	都留文科大学	2		
私立大学	同志社大学	20	関西学院大学	5
	立命館大学	22	関西大学	22
	龍谷大学	11	近畿大学	64
	京都産業大学	2	畿央大学	9
	京都女子大学	1	大和大学	2
	森ノ宮医療大学	4	大阪工業大学	4

【標準コース】

私立大学	近畿大学	4	京都産業大学	3
	桃山学院大学	2	龍谷大学	5
	京都外国語大学	1	摂南大学	3
	畿央大学	2	奈良大学	1
	大阪工業大学	1	帝塚山大学	3
			等	

【美術科】

私立大学	奈良芸術短期大学	9	京都芸術大学	1
	大阪芸術大学	5	京都精華大学	1
			等	

4 海外修学旅行 実施せず（代替えとして、希望生徒を対象とした国内旅行実施）
（2年生対象） 行先 九州方面（福岡、大分、熊本）
期間 令和4年11月8日～11日

【聖心学園中等教育学校】

1 令和4年度の主な事業の概要

【教育活動】

(1) 組織・運営体制の整備充実

教職員一人一人が進学校として位置付けることを意識し、授業の充実を核にして、放課後の学習補充（後期課程で、大学入試の対策の工夫）についても工夫を図っている。

(2) 教育内容の充実のための施策

本年度も、引き続き「新型コロナウイルス」感染症により様々な影響があった。

授業については、「オンライン授業（動画配信を含む）」と「対面授業」によるハイブリッド授業により、生徒たちの学びを止めることはなかった。

学校行事については中止になった行事は少なかったが、実施できた多くの学校行事で規模を縮小したのとなり、生徒には大きな我慢を強いることになった。そのような中「宿泊を伴う行事」や「校外へ出ていく行事」については、時期に配慮して実施し、生徒には満足したものとなった。

◇教育活動の2本柱である「英語」と「探究活動」について

新型コロナウイルス禍の最中であったが、実施時期の変更なども含め、可能な限りの感染対策を施し実施した。

①「英語」

- ・ネイティブの英語講師を招き、7月、8月に英語集中プログラムを実施
- ・オーストラリア現地校には、3年ぶりに短期研修で10日間の訪問が実現できた。（現地校との「姉妹校締結」がコロナ禍で止まっており、今後実現に向けて行動したい）

②「探究活動」

- ・前期課程…地元（橿原市・明日香村）との一層の連携を図った

- ・6/16(水) 橿原市内企業等の皆さんとの座談会(3年生対象)
- ・11/16(水) 明日香村 田中教育長による本校での講演(1年生対象)

- ・5年生「クエストカップ 全国大会」に出場した2チームが優秀賞受賞
尚、受賞チームは全国大会のファーストステージへ出場した。
グランプリは逃したが、本部内では本校のプレゼンが常に注目されている。

(参考)「クエストエデュケーション」… 全国約300校で57,000人の中高生が取り組む活動
(ホームページより)

(3) 組織力の強化

①ソフト面

「新型コロナウイルス」の影響があっても、これまでの対応経験を活かし、ICT機器の活用を中心に、より工夫ある「学び」への取組をした。

②発信力の強化

入試広報において、オープンスクールについては1回の参加者数を制限して7週連続で実施した。アンケートを見る限りでは参加者には好評であった。コロナ感染症は、令和5年5月8日以降「インフルエンザ」と同じ扱いとなるが、本年度の実施規模で行うことを考えている。

③探究活動の成果の利用

本校5年間の探究活動の集大成ともいえる「クエストカップ」では、5年生の2チームが全国大会に出場を果たした。来年度は、本校探究活動のステージの在り方を下記のように進化させる初年度となる。

前期課程：国内（地域 → 実社会） ⇒ 後期課程：海外（修学旅行先の地域 → 実社会）

(4) その他

本年4月の入学者数は目標の「60人」を下回る「37人」であった。

今後、入試広報を中心に、全教職員で原因を究明し、入試広報部以外の教職員も一人一人が入試広報活動を担っているという意識で、それぞれの業務に努める。

【施設設備整備】

- ① 北館トイレの洋式化と照明のLED化
- ② 理科実験器具の充実

2 令和4年度 生徒募集の広報活動状況

活動内容	実施日	対象者	参加者(組)
学校説明会	5/14~6/25	児童(6年生)・保護者	69
第1回 オープンスクール	7月16日	児童(6年生)・保護者	57
第2回 オープンスクール	10月8日	〃	31
学習塾対象入試説明会	6月、9月	学習塾	56
保護者対象入試説明会	9月17日	児童(6年生)・保護者	52
聖心入試チャレンジ	10/29,11/26	児童(6年生)	122
合格勝ち取りセミナー	11/12,12/17	〃	105
合計			492

3 令和4年度卒業生の進学状況

国公立大学	奈良教育大学	1	防衛大学 他多数	3
	奈良女子大学	3		
	和歌山大学	2		
	大阪公立大学	1		
	奈良県立医科大学	1		
	名古屋工業大学	1		
	私立 医学部系	京都薬科大学		
武庫川女子大学		1		
立命館大学		1		
私立大学	同志社大学	8	立命館大学 関西大学 近畿大学	6 3 14
	関西学院大学	2		
	京都産業大学	2		

- 4 海外修学旅行 実施せず (代替えとして、希望生徒を対象とした国内旅行実施)
- 行先 四国方面
- 期間 令和4年11月15日~19日

【聖心幼稚園】

1 聖心幼稚園の教育の特色について

公立幼稚園と異なる聖心幼稚園のおすすめポイントはつぎのとおりである。

- ①遊びも学びもどちらも大切にしている。
→聖心幼稚園では、遊びを大切にしながら、学びの基礎を特別指導などから身につけることができる。
- ②基本的な生活習慣を身につける。
→挨拶や手洗いなど基本的な生活習慣を身につけることや、発達段階に応じた役割を担うことで、責任感と達成感を体験している。
- ③年間を通して歯みがき指導をする。
→自分で磨き、先生が仕上げ磨きをする。「食べたら磨く」の歯磨き習慣は子どもたちへの大切なプレゼントになる。
- ④魅力的な「特別指導」で生き生き活動する。
→専門の指導者によるレッスンが受けられ、子ども興味や関心を引き出しながら、生き生きと活動する内容になっている。
- ⑤複数担任制でゆとりをもって保育している。
→二人の指導者がいることで、子どもたちに目が行き届き、安心して園生活が送れる教育環境を提供している。

2 令和4年度の主な事業の概要

【教育活動】 教員6名体制で、全てのクラスで複数担任制を実施。教育内容は充実している。

- ◎ 教諭の相互連携の充実（複数担任制と職員相互の連携）
それぞれのクラスの主担任と副担任の連携はもちろんのこと、クラスを超えた職員間の連携が進んでいる。サポートが欲しいときには互いに助け合い、園児の成長に向けて自ら考動している。
- ◎ 特別指導の充実
特別指導は本園の特色ある教育活動の一つで、専門の指導者によるレッスンである。音楽、絵画、英会話体操、造形、書道など、子どもたちの興味や関心を引き出しながら、楽しく意欲的に学べる機会を提供している。
- ◎ 保護者に開かれた幼稚園
「参観保育・日曜参観」「お誕生日会」「夕涼み会」「英語・音楽発表会」など、毎月、保護者に、幼稚園での子どもたちの活動の様子を見てもらう機会を設けている。
こうしたことで、子どもたちの様子を知ってもらい、聖心幼稚園の良さを理解していただいている。
- ◎ 新型コロナウイルス対応による運営
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、教員全員で感染防止対策を行った。年少児から全園児のマスク着用、手洗いや消毒、部屋の換気など基本的な対処を継続してきた。

【施設設備整備】

- (1) 保育室のトイレとエアコンの全面改修
- (2) 園内の照明のLED化

3 園児募集の広報活動

令和4年度園児募集の広報活動状況

活動内容	実施日	参加者(名)
未就園児遊ぼう会	4月25日	16
	5月17日	10
	6月8日	15
	7月7日	21
夕涼み会	7月15日	園児のみにて実施
運動会(クラスごと実施)	9月25日	120
作品展(クラスごと実施)	10月22日～23日	120
フリー参観(クラスごと実施)	11月1日	75
未就園児遊ぼう会	11月18日	17
新入園児説明会	2月4日	20
英語・音楽発表会	2月26日	120
参加者合計		534

来園者に「聖心幼稚園をどういった方法で知りましたか」というアンケートをとっている。これによると「ホームページ」「知り合いから」という回答が多い。こうしたことから、従来以上に、保護者にとって親しみのある見やすいホームページやわかりやすい広報活動が必要である。
「園の様子を伝える親しみやすいホームページ」「遊ぼう会や園の見学についての情報配信」とともに、特色ある聖心幼稚園の指導を、実際に見学して頂く機会を多く提供したい。